

職員のみなさんへ

京都生協くらしの助け合いの会事務局

## くらしの助け合いの会へご参加下さい！

### 【「くらしの助け合いの会」ってご存知ですか？】

「名前は聞いたことがあるけど、中身はよう分からんなぁ・・・」「共済とよう間違われるわ～」って声が聞こえてきます。

くらしの助け合いの会は1986年、今から29年前に左京区からはじまりました。そのころは、京都生協の中でもまだ福祉の活動や事業が不十分な時代、先進的な取り組みとして福祉活動の中心を担ってきました。これまで一緒に生協の活動をしてきた仲間が、けがや高齢化で家事がうまくこなせなくなった・・・。そんな時「困ってるんやったら言うてや。みんなで応援にいくよ・・・」という思いで活動が広がってきました。会員登録数は京都府下全域に広がって2014年12月現在で2,400人です（組合員活動の中でも自主自発で活動されている数としては最大です）。

### 【くらしはますます厳しくなってきました！】

少子高齢化、格差の広がりなどで大変くらしにくい社会になってきている中、住み慣れた街で住み続けられるように、みんなで助け合う仕組みとしてくらしの助け合いの会をつくり、自らのくらしを守り続けています。生協ならではの協同の思いを具現化した活動として、しかもそれが、組合員の自主自発の活動としてここまで広げられています。わたしも一職員としてあらためて敬意の心でいっぱいです。

### 【会を支える一員になって下さい！】

会には、援助してほしいという利用会員と援助する活動会員、そして利用もしないし活動もしないけど会を応援する賛同会員とに整理しています。職員のみなさんには、是非、賛同会員になっていただいて、生協ならではのボランティアな気持ちで活動されている組合員活動を支えていただきたいと思います。

会員になるには、年会費1,000円を納めていただきます。くらしの助け合いの会は、事業ではないので、年会費は、会の運営資金として活用されます（その他、利用1時間に対して200円の運営費をいただいています。また、不足の場合は、京都生協の教育文化費から援助いただいています）。

### 【会の活動を紹介します（2013年度実績）】

- 援助としては、病気が61%で最も多い理由です。次にしょうがいの方8%、介護家庭7%、子育て応援5%の順になっています。圧倒的に高齢になり病気になった時に援助を求めてこられるケースが多いです。
- 援助対象としては、一人住まいの方が36%、子ども世帯と同居29%、夫婦だけ26%、未婚の子どもと同居7%となっています。一人住まいで困っている方が増えてきています。
- 活動の内容としては、家の中の掃除が30%、話し相手・見守り15%、家の外の掃除14%、買い物が8%、洗濯7%、食事づくり7%、外出・通院の介助6%、子育ての手伝い1%の順です。介護保険改定の対応でヘルパーの援助内容が厳しくなった影響で、その不足部分を援助する活動が増えてきています。